

「隠したら店を出ずとも窃盗犯」

万防機構が壁新聞

全国の中学に配布

全国万引犯罪防止機構
(竹花豊理事長)は「20
17年度万引防止啓発のた
めの壁新聞」を作成し、6

月19日から全国の中学校、
信用金庫などに配布してい
る。

同機構は平成25年から同
壁新聞の制作を一般財団法
人日本宝くじ協会の助成で
行っており、継続を要望す
る声が多いことから今年も
作成。前年の壁新聞に関し
て中学校側から寄せられた
要望、アンケート結果も踏
まえて内容を検討した。

今回の壁新聞は、劇画タ
ッチのイラストとともに
「隠したら店を出ずとも窃
盗犯! 精算前の商品をポ
ケットやバッグの中に入れ

た場合、店内でも「窃盗
罪」になります」と注意喚
起する。

さらに、万引防止策の新
たな動向として「被害に苦
しむ小売店では、窃盗犯に
対して商品代に加えて、警
察に引き渡すまでの警備に
要した人件費を請求する動
きが広がっています」と説
明している。この「人件費」

とは被害届の作成などに要
した時間や交通費等を経費
として窃盗犯に請求するも
のだ。

同機構の稲本義範事務局
次長は、壁新聞の趣旨を次
のように語る。

「夏休みを控えて、中学
校の掲示板など目につく場
所に貼り出すことで青少年
の非行防止教育の一助にな



隠したら店を出ずとも 窃盗犯!

精算前の商品やポケットや
バッグの中に入れた場合、
店内でも窃盗罪になります。

悪い気持ちでやってしまった万引
あなたを懲罰している
警察はどんな気持ち
だと思いますか?

全国万引防止機構
おなごんごん万引防止
だといひますか?
この壁新聞は、宝くじの社会貢献活動等として助成を受け作られたものです。

万引防止啓発の壁新聞(万防
機構提供)

ればと考えている。昨今は
高齢者の万引対策も課題と
なっているが、この壁新聞
を読んだ少年少女が「万引
は犯罪そのもの、絶対にい
けない」という思いを、こ
れから30年、50年先まで持
ち続けてほしいとの願いを
こめて作成しました」。

さらに稲本事務局次長は
「昨今は防犯カメラなどシ
ステム面が進歩する一方、
店舗で立哨する制服の警備
員がこまめに声掛けを行う
ことは犯罪抑止に大きな効
果がある。店舗内で万引被
害の危険性が高い場所など
の情報を警備会社が分析し
て、警備員と店舗の従業員
が情報共有することが重要
です」と述べた。